

スマサポ内覧サービスに解錠目的選択機能を追加

～管理物件への訪問実態を可視化、データドリブンなリーシング活動を実現～

不動産賃貸マーケットに対してテクノロジーを活用したサービスを提供する株式会社スマサポ（本社：東京都中央区、代表取締役社長CEO：小田 慎三、証券コード：9342、以下スマサポ）は、鍵管理システム「スマサポ内覧サービス」に解錠目的選択機能を新たに追加したことをお知らせいたします。

本機能により、管理物件への仲介会社の訪問目的（案内、写真撮影、採寸等）をデータとして収集・可視化することが可能となり、物件運営の最適化と戦略的なリーシング活動の実現を支援します。



「開錠目的」選択機能



機能の概要

今回のアップデートでは、物件の解錠申請を行う際に、解錠目的を以下の4項目から選択する機能を追加しました。

案内：お客様への物件案内

写真：物件写真の撮影作業

採寸：間取りや設備の採寸作業

その他：上記以外の目的での訪問

選択された解錠目的は管理会社の管理画面に反映され、目的別の集計・分析が可能になります。これにより、「実際の内覧回数と準備作業の比率」「物件ごとの撮影・採寸頻度」といった、仲介会社のリーシング活動の実態を詳細に把握できるようになります。

＜本件に関する報道関係者からのお問い合わせ先＞

株式会社スマサポ 担当：清水・山崎 MAIL：pr@sumasapo.co.jp

これまでの内覧サービスでは、仲介会社による物件訪問は「内覧」として一括りにされており、お客さまを案内する内覧なのか写真撮影、採寸、設備確認といった事前準備作業なのか、物件訪問の実態が見えにくい状況でした。今回の機能追加により、管理会社は訪問目的別のデータを活用し、よりシャープなリーシング活動が可能になります。

当社は今後も、内覧サービスの機能開発を通じて、不動産管理会社の管理業務全体の効率化に貢献してまいります。

鍵管理システム「スマサポキーボックス（SKB）」とは

鍵管理システム「スマサポキーボックス（SKB）」は、不動産管理会社が賃貸マンションの部屋の扉に取り付けることにより、物件内覧時の鍵の貸し借りといった手間を省略し、スムーズな物件内覧を提供するツールです。キーボックスの解錠に暗証番号ではなくスマートフォンのアプリを利用し、解錠の履歴を取得することで、セキュリティの向上を実現しています。この仕組みを活用して、自治体施設や分譲マンション管理人室の鍵管理など物件内覧以外の場面でも幅広くご利用いただいております。

SKBは、お部屋や施設入口のドア部分に磁石を利用して取付けるボックス型デバイスと、集合住宅のエントランスオートロックに対応したエントランス用モジュール（SKE）の2種類があり、専用の「スマサポキーアプリ」をインストールしたスマートフォンで解錠し、中から物理鍵が取り出せる仕組みになっています。これらのデバイスを活用したスムーズな内覧と内覧履歴データの活用をお届けするサービスを総称「スマサポ内覧サービス」として、展開しております。

【サービスに関するお問い合わせ】

<https://skb-key.com/contact>



株式会社スマサポについて

スマサポは「smart ながらしを support する」をテーマに、不動産資産価値の向上や入居者メリットの拡大、業務効率化といったテーマに対し、既存商品・サービスを更に深堀する新しいビジネスモデルの構築や、ITを活用した新しいサービスを生み出し、不動産管理会社や不動産仲介業者を通じてより多くの入居者に新しい価値を届けます。

【会社概要】

社名：株式会社スマサポ

本社所在地：東京都中央区日本橋 3-6-2 日本橋フロント 1F

代表者：代表取締役社長 C E O 小田 慎三

設立：2012年4月

資本金：213,707,822円

事業内容：不動産管理業界に向けた複数ソリューション提供と入居者アプリ「totono」を活用したDX推進事業

HP：<https://www.sumasapo.co.jp/>

X 公式アカウント：https://x.com/SUMASAPO_PR

Facebook 公式アカウント：<https://www.facebook.com/sumasapo.co.jp>

Note 公式アカウント：<https://note.com/smssp2023>